

## 診療局：内科《血液内科》

### －スタッフ－

役 職	スタッフ名
科 長	福島 健太郎
医 長	数藤 孝雄
診療局参与	玉置 俊治
非常勤医師	一井 倫子

### －概要－

当院は日本血液学会認定血液研修施設であり、これまでに造血幹細胞移植療法を含め、積極的に治療を目指した治療を行ってきた。自己末梢血幹細胞移植、血縁者間造血幹細胞移植の他、日本臍帯血バンクおよび日本骨髄バンクを介した造血幹細胞移植が施行可能な認定施設であり、1991年から2009年までに施行したすべての移植患者数は319名である。ただ、2009年以降、常勤医師は玉置俊治医師（副院長/診療局参与）1名となったため、移植医療は休止していたが、2014年度より福島科長、数藤医長が着任し移植医療の再開に向けて徐々に体制を立て直しつつある。これまでの経験を活かし日本骨髄バンクのドナーコーディネートに協力する一方で、まず自己末梢血幹細胞移植を施行した。これら治療を目指した積極的な治療以外にも、生活の質を重視した化学療法や輸血療法など患者さんの満足度を重視した、患者さんの立場に立った診療を行ってきている。さらに院内における血液疾患に対するレベルアップのみならず、泉州二次医療圏内における血液疾患に対する医療レベルアップ・二次医療圏内での治療の完結を目標に、造血幹細胞治療における他病院との連携システムを構築してきている。

### 【診療体制】

外来診療は福島科長、玉置診療局参与、大阪大学総合地域医療学寄附講座所属の一井倫子医師が担当し、地域の医療機関よりの紹介患者さんの診療や外来化学療法、輸血療法など多くの患者さんの診療にあたった。診療体制が整ったことで紹介患者さんも増加し、2014年度の新患患者数は185件であった。この他、他科からの化学療法の合併症等に関するコンサルトにも随時対応した。

入院診療は、病床数：15床を福島科長・数藤医長で担当した。入院患者数は延べ176件（119名）となった。

さらに臨床研修医の教育にも力を入れ、初期研修医：1名に指導を行った。

### －実績－

2014年4月～2015年3月の入院患者

（各疾患実患者数）：119名

悪性リンパ腫、形質細胞性疾患	
びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	33
ろ胞性リンパ腫	9
成人T細胞性白血病/リンパ腫	6
ホジキンリンパ腫	1
その他の悪性リンパ腫	6
多発性骨髄腫	13
急性白血病とその類縁疾患	
急性骨髄性白血病	7
急性リンパ性白血病	5
慢性骨髄性白血病	6
慢性リンパ性白血病・その他	1
骨髄異形成症候群	16
良性疾患、その他の疾患	
特発性血小板減少性紫斑病	3
再生不良性貧血	4
その他(血栓性血小板減少性紫斑病など)	9